

Sen'i Gakkaishi
(Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

繊維学会誌

特集 〈染色研究委員会〉



2018 Vol.74 **12**

一般社団法人 繊維学会



卒業制作データベースは
こちらから ▶▶▶



知識と感性を融合し、「衣」を創造する人材を育てる 服飾造形学類

和洋女子大学

- 人文学部
国際学科 英語文化コミュニケーション専攻 /
国際社会専攻
- 日本文学文化学科 日本文学専攻 / 書道専攻 /
文化芸術専攻
- 心理学科
- こども発達学科

- 家政学部
服飾造形学科
健康栄養学科
家政福祉学科
- 看護学部
看護学科

和洋女子大学大学院(男女共修)

- 人文科学研究科
英語文学専攻
日本文学専攻
- 総合生活研究科
総合生活専攻
(博士前期・後期課程)

【お問い合わせ先】 TEL: 047-371-1127
入試センター FAX: 047-371-1185



和洋女子大学
和洋女子大学大学院

〒272-8533 千葉県市川市国府台 2-3-1

<交通アクセス> 京成線 国府台(和洋女子大学前) 駅より徒歩9分 /
JR線 市川駅よりバス8分 / JR線 松戸駅よりバス20分 / 北総線 矢切駅よりバス7分

2016年3月、和洋女子大学は、パリ(フランス)のオートクチュール協会の服飾専門学校
Ecole de la Chambre Syndicale de la Couture Parisienne と学校間協定を締結しました。

www.wayo.ac.jp



学部：工学部 & 応用生物科学部

大学院：自然科学技術研究科・連合農学研究科

繊維関連の講座を持つ学 科	化学・生命工学科	機 械 工 学 科	応 用 生 命 科 学 課 程
大学院博士前期課程	物 質 ・ も の づ く り 工 学 専 攻, 生 命 科 学 ・ 化 学 専 攻		
大学院博士後期課程	物 質 工 学 専 攻, 生 産 開 発 シ ス テ ム 工 学 専 攻, 生 物 資 源 科 学 専 攻		
付 属 施 設 プロジェクト研究センター	次 世 代 金 型 技 術 研 究 セ ン タ ー Tel: 058-293-2495		

☆技術相談等のお問い合わせは岐阜大学研究推進・社会連携機構 産学連携部門窓口までお気軽にどうぞ！

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 Tel: 058-293-2025 E-mail: orchid@gifu-u.ac.jp

岐阜大学ホームページURL <http://www.gifu-u.ac.jp/>

木とともに未来を拓く

木とともに未来を拓く総合バイオマス企業として、
これまでにない新たな価値を創造し続け、真に豊かな暮らしと
文化の発展に貢献します。



日本製紙株式会社

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ 〒101-0062 TEL.03-6665-1111
www.nipponpapergroup.com

業界待望の入門書!!

基礎から最先端まで —
必携書 3冊が完成

業界マイスターに学ぶ せんいの基礎講座

監修：繊維学会

編集：日本繊維技術士センター

新JIS
洗濯取扱い表示記号等
改訂 第3版発行

JTCCの繊維技術士15名が伝承した
「せんい」のバイブル

繊維産業の全工程を一挙網羅

- 監修：一般社団法人 繊維学会
- 編集：一般社団法人 日本繊維技術士センター (JTCC)
- 体裁：A5判 428 ページ カバー巻き
- 定価：本体 3,000 円 + 税

新しい扉を拓く ナノファイバー

Sky-high Nanofibers in the Future

— 進化するナノファイバー最前線 —

八木 健吉 著

「ナノファイバー」の
今を知り、未来を創る!

ナノファイバーの“革新”に迫る最先端技術

- 著者：八木 健吉
(元 東レ(株)、一般社団法人 日本繊維技術士センター 副理事長)
- 体裁：A5判 200 ページ カバー巻き
- 定価：本体 2,500 円 + 税

最新刊 これだけは 知っておきたい 不織布・ナノファイバー用語集

● 著者：矢井田 修 / 山下 義裕 共著

- 体裁：B6判変形 250 ページ
- 定価：本体 2,500 円 + 税

● 発行：お申し込みは — HP / E-mail / 電話で



株式会社 繊維社 企画出版

〒541-0056
大阪府中央区久太郎町1-9-29 (東本町ビル5F)
Tel. (06) 6251-3973 Fax. (06) 6263-1899
E-mail: info@sen-i.co.jp https://www.sen-i.co.jp



繊維技術データベース開始しました

全商品リスト123点に拡充!!

入門・教育用に、新商品・新技術開発にご活用ください。



繊維学会誌

2018年12月 第74巻 第12号 通巻 第873号

目 次

時 評 化繊産業の課題と化繊協会活動 和賀 昌之 P-583

特 集 〈染色研究委員会〉
染色研究委員会の特集にあたって 安永 秀計 P-584
超臨界流体染色の開発の現状と市場動向 堀 照夫 P-585
染色化学：4つのフェーズと3つの論 濱田 州博 P-590
構造色の発現を利用した新しい着色法 廣垣 和正 P-597
バイオカテコールの酸化反応を活用する白髪用染毛法の研究
松原 孝典・安永 秀計 P-602

解 説 〈平成29年度繊維学会賞受賞者〉
高分子次元制御に基づくバイオスキャホールド設計に
関する新概念 松野 寿生 P-609

レポート 第57回ドルンビルン国際繊維会議のトピックス 塩谷 隆 P-614

連 載 〈業界マイスターに学ぶ アパレル製品の基礎講座－10〉
総論 第9章「アパレル製品の洗濯とメンテナンス」
山田 勲 P-621

繊維学会創立70周年記念連載 〈技術が支えた日本の繊維産業－生産・販売・商品開発の歩み－63〉
アパレル編3 アイテム別の動向 松下 義弘 P-635

元会長、瓜生敏之先生の高分子のお話し、その5
高分子の深奥話 瓜生 敏之 P-643

海外ニュースレター P-644



Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 74, No. 12 (December 2018)

Contents

Foreword

- Challenges of Chemical Fibers Industry and Activities of Japan
Chemical Fibers Association Masayuki WAGA P-583
-

Special Issue on Studies by the Members of Dyeing Research Committee

- Special Issue on Studies by the Members of Dyeing Research Committee
Hidekazu YASUNAGA P-584
- Current Situation of the Development of Supercritical Fluid Dyeing and the
Market Trends Teruo HORI P-585
- Dyeing Chemistry : Four Phases and Three Theories Kunihiro HAMADA P-590
- Structural Coloration of Textiles –Controlling Structure of Colloidal Crystal
Array on Fiber and Textile– Kazumasa HIROGAKI P-597
- Study on Colouring White Human Hair by Utilising Oxidation of Bio-Catechols
Takanori MATSUBARA and Hidekazu YASUNAGA P-602
-

Review

- A Novel Design Concept of Bio-Scaffolds Based on Dimension Controlled Polymers
Hisao MATSUNO P-609
-

Report

- 57th Dornbirn Global Fiber Congress, Austria –Topics– Takashi SHIOTANI P-614
-

Series on Apparel Basic Course Lectured by Professional Engineers–10

- How to Properly Wash and Care for Apparel Clothes Isao YAMADA P-621
-

Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

- History of the Production, Sales, and Product Development–63
Apparel Part #3, Westernization of Japanese Clothes, Individual Trends
Yoshihiro MATSUSHITA P-635
-

Contribution from Former President Prof. Em. Toshiyuki Uryu, Part 5

- Profundity Story of Polymers Toshiyuki URYU P-643
-

Foreign News Letter

P-644



Journal of Fiber Science and Technology (JFST)

Vol. 74, No. 12 (December 2018)

Transaction / 一般論文

❖ 還元糖の酸化物を利用した羊毛の濃色着色

大江 猛・吉村 由利香 229

Deep Coloration of Wool Fibers Using Oxides of Reducing Sugars

Takeru Ohe and Yurika Yoshimura

繊維学会論文誌“Journal of Fiber Science and Technology (JFST)”

毎月の目次と抄録を繊維学会誌に掲載して参ります。本文はJ-Stageでご覧になれます。繊維学会のホームページ「学会誌・出版」から、また直接下記のアドレスにアクセスしてください。

英 語： <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fiberst>

日本語： <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fiberst/-char/ja/>

JFST はどなたでも閲覧は自由で認証の必要はありません。但し、著作権は繊維学会に帰属されます。

Journal of Fiber Science and Technology 編集委員

Journal of Fiber Science and Technology, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	鬘 谷 要 (和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩 谷 正 俊 (東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	青 木 隆 史 (京都工業繊維大学大学院) Takashi Aoki	金 井 博 幸 (信州大学) Hiroyuki Kanai	上高原 浩 (京都大学大学院) Hiroshi Kamitakahara
	河 原 豊 (群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	北 岡 卓 也 (九州大学大学院) Takuya Kitaoka	木 村 邦 生 (岡山大学大学院) Kunio Kimura
	久保野 敦 史 (静岡大学) Atsushi Kubono	澤 渡 千 枝 (武庫川女子大学) Chie Sawatari	武 野 明 義 (岐阜大学) Akiyoshi Takeno
	趙 顯 或 (釜山大学校) Hyun Hok Cho	登 阪 雅 聡 (京都大学) Masatoshi Tosaka	花 田 美和子 (神戸松蔭女子学院大学) Miwako Hanada
	久 田 研 次 (福井大学大学院) Kenji Hisada	堀 場 洋 輔 (信州大学) Yohsuke Horiba	吉 水 広 明 (名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu

Deep Coloration of Wool Fibers Using Oxides of Reducing Sugars

Takeru Ohe and Yurika Yoshimura

Osaka Research Institute of Industrial Science and Technology, Morinomiya Center, 1-6-50 Morinomiya, Joto-ku, Osaka 536-8553, Japan

It was well experienced in our daily living that foods including both reducing sugar, such as glucose, and amino compound, such as amino acid and protein, become yellow or brown after the heating process or long storage such as the fermentation process. These coloration reactions are called the Maillard reaction, melanoidin reaction, or browning reaction. The natural coloration of foods such as beer, soy sauce, and miso are well-known examples of the melanoidin colorants caused by the Maillard reaction. In our previous works, it was clarified that protein fibers such as wool, silk, and leather were colored yellow or brown by reactions with reducing sugars. However, it was clear that their coloration speed was very slow compared with usual synthetic dyes. For example, brown coloration of the wool fibers was required 24 hours or over, where xylose was used as one of reactive reducing sugars.

In the fields of food chemistry, it was well known that oson compounds, such as glucoson and glycoson, are one of important intermediates of the Maillard reaction. However, these oson compounds are usually produced via the slow air oxidation of the reducing sugars. In this paper, shortening of the coloration time of the wool fibers was investigated by use of a mixture of the sugar oxides including the oson compounds, where the sugar oxides could be easily produced by their chemical oxidation using Fenton reaction. Predictably, the reactions of the wool fibers with sugar oxides could afford both their quick and deep coloration; they became dark brown within only 2 hours in the presence of glucose oxides. **J. Fiber Sci. Technol., 74(12), 229-236 (2018) doi 10.2115/fiberst.2018-0032 ©2018 The Society of Fiber Science and Technology, Japan**

会告 2018

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 74, No. 12 (December 2018)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
2018. 12. 25(火)	繊維学会関東支部・ナノファイバー技術戦略研究委員会 2018 年度合同講演会(東京都・東京工業大学岡山キャンパス)	A7
12. 26(水)	フロンティアソフトマター開発専用ビームライン産学連合体 第8回 研究発表会(宇治市・京都大学おうばくプラザ)	A9
2019. 1. 11(金)	2019 学術ミキサー(3学会共催)(東京都・和洋学園 九段スカイビル)	A6
1. 16(水)	日本接着学会東北支部講演会 2018(2)(米沢市・山形大学米沢キャンパス 工学部百周年記念会館セミナールーム)	A9
1. 21(月) ～23(水)	進化を遂げる μ -TAS lab-on-chip organ-on-a-chip コース(川崎市・かながわサイエンスパーク内 講義室)	A9
1. 22(火)	2018 年度繊維学会東北・北海道支部講演会「新規材料創製のための合成技術の最前線」(郡山市・日本大学工学部 次世代工学技術研究センター プレゼンテーションルーム)	A8
1. 24(木)	繊維学会 第193回被服科学研究委員会(東京都・大妻女子大学 千代田校舎)	A9
1. 24(木)	第251回ゴム技術シンポジウム～基礎から応用技術でみるゴムのトライボロジー(Ⅲ)～(大阪市・大阪科学技術センター 404号室)	A10
1. 28(月)	シンガポール国立大学 Seeram Ramakrishna 教授講演会(京都市・京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス 3号館 0322 講義室)	A8
2. 1(金)	第252回ゴム技術シンポジウム～ゴム・エラストマーの安全、安心を支える劣化対策～(東京都・東京電業会館・地下ホール)	A10
2. 14(木) 15(金)	第23回省エネルギーセミナー「省エネ新技術特集」(東京都・タワーホール船堀 小ホール)	A10
2. 19(火)	第168回講演会 最新の成形不良対策と品質向上へのアプローチ～寸法不良及びガス対策を中心に～(東京都・東京工業大学 大岡山キャンパス)	A10
6. 5(水) ～7(金)	2019 年繊維学会年次大会(東京都・タワーホール船堀)	A3～5
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	2010年6月号
	繊維学会定款(2012年4月1日改訂)	2012年3月号
	Individual Membership Application Form	2012年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(2012年1月1日改訂)	2014年1月号
	訂正・変更届用紙	2014年3月号

「繊維学会誌」編集委員

編集委員長	土田 亮(岐阜大学)								
編集副委員長	髭谷 要(和洋女子大院)	出口 潤子(旭化成(株))							
編集委員	植野 彰文(KBセーレン(株))	大江 猛(大阪産業技術研究所)	大島 直久((一社)日本染色協会)	金 翼水(信州大学)					
	澤田 和也(大阪成蹊短期大学)	杉浦 和明(京都市産業技術研究所)	高崎 緑(京都工芸繊維大院)	谷中 輝之(東洋紡(株))					
	田村 篤男(帝人(株))	西田 幸次(京大院)	西村 高明(王子ホールディングス(株))	増田 正人(東レ(株))					
	村上 泰(信州大学)	山本 洋(三菱ケミカル(株))	吉田 耕二(ユニカトレーディング(株))						
顧問	浦川 宏(京都工芸繊維大院)	松下 義弘(繊維・未来塾幹事)							

2018年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
2019 学術ミキサー	2019年 1 月11日(金)	和洋九段女子高校 (東京都千代田区)
繊維技術講座	2019年 2 月19日(火)	東京農工大学 (小金井キャンパス)

2018 年度繊維学会各賞授賞候補者募集要項

当学会では、功績賞、学会賞、技術賞、論文賞、奨励賞、紙・パルプ論文賞を設け、一般会員より広く推薦(応募)を求めています。2018 年度も例年通り、各賞の表彰を行いたく受賞候補者の推薦または応募を頂きますようお願い申し上げます。なお、論文賞は、一般公募をせず、論文賞選考委員によりその年の繊維学会論文誌(JFST)に掲載されました論文から選考されます。

推薦(応募)書類は、所属支部長または学会事務局へ期限までに提出をお願いします。

- ・推薦(応募)書類はホームページ <http://www.fiber.or.jp/>の学会賞に掲示してありますので、ダウンロードしてご利用ください。
- ・会員(維持会員、賛助会員を含む)は受賞候補者の資格を有し、自薦・他薦を問わない。
- ・推薦(応募)書類の提出期限は 2018 年 12 月 25 日(火)迄です。
- ・歴代受賞者はホームページ <http://www.fiber.or.jp/>に掲載しています。

1. 繊維学会功績賞

- ① 対象：原則として、受賞年(2019 年)の 4 月 1 日において満 60 歳以上の本会会員で、多年にわたり繊維学会の発展に顕著な業績をあげた者、または繊維科学あるいは繊維工業の発展に優れた業績をあげた者。
- ② 表彰の件数：原則、5 件以内。
- ③ 表彰状および賞牌の授与。

2. 繊維学会賞

- ① 対象：原則として、受賞年(2019 年)の 4 月 1 日において満 51 歳未満の本会会員で、繊維科学について独創的で優秀な研究を行い、さらに研究の発展が期待される研究者。
- ② 表彰の件数：原則、2 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

3. 技術賞

- ① 対象：本会会員(維持・賛助会員を含む)で、繊維に関する技術について、優秀な研究、発明または開発を行い、繊維工業の発展に貢献した個人またはグループ。
- ② 表彰の件数：原則として、技術部門 3 件以内、市場部門 1 件以内。
- ③ 表彰状および賞牌の授与。

4. 論文賞

- ① 対象：本会会員(維持・賛助会員を含む)で、繊維科学および繊維技術に関し、その年(2018 年 1 月号～12 月号)の本会論文誌(JFST)に論文を発表した研究者。
- ② 表彰の件数：3 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

5. 奨励賞

- ① 対象：原則として、受賞年(2019 年)の 4 月 1 日において満 36 歳未満の本会会員で、繊維科学もしくは繊維技術について優秀な研究を行い、今後も継続して期待ができる新進気鋭の研究者。
- ② 表彰の件数：原則として、3 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

6. 紙・パルプ論文賞(事前に事務局へお問い合わせください)

- ① 対象：原則として、受賞年(2019 年)の 4 月 1 日において満 40 歳未満の本会会員で、過去 5 年間に本会論文誌(JFST)に論文 2 編以上を発表した新進気鋭の研究者。
- ② 推薦(応募)書類は、学会事務局へ期限までに提出をお願いします。
- ③ 表彰の件数：原則として、1 件以内。
- ④ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

問合せ先

本部 一般社団法人 繊維学会事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

TEL: 03-3441-5627 FAX: 03-3441-3260 E-mail: office@fiber.or.jp

2019 年 繊維学会年次大会 研究発表募集

1. 日 時：2019 年 6 月 5 日(水)～7 日(金)

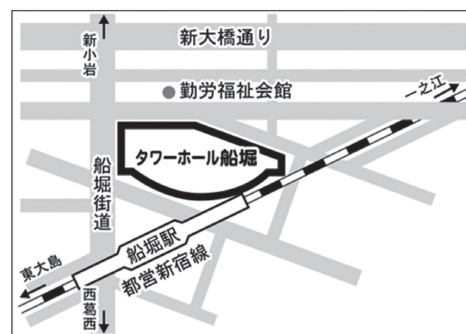
2. 場 所：タワーホール船堀(江戸川区総合区民ホール)

〒134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1

TEL:03-5676-2211 FAX:03-5676-2501

<http://www.towerhall.jp/>

〈交通〉都営地下鉄新宿線船堀駅下車北口徒歩約 1 分



3. 開催概要

繊維学会年次大会は、繊維・高分子科学に携わる研究者や技術者が一堂に会し、研究成果の発表を行い、参加者と充実した議論やコミュニケーションができる場を提供することを開催の基本方針としています。また、「優秀口頭発表賞」と「優秀ポスター発表賞」を授与し、活躍する若手研究者の顕在化を図ります。例年、多数の一般発表に加え、依頼講演もあります。会員の皆様には、ご自身の最新の研究成果の発表の場、議論討論の場、ネットワークを広げる場として、本年次大会を積極的にご活用ください。

4. 発表分野

プログラム編成にあたり、発表内容を加味して、分野変更や分野統合などを行う可能性があります。予めご了承ください。

- [1. 繊維・高分子材料の創製] 1a 新素材合成、1b 素材変換・化学修飾、1c 無機素材・有機無機複合素材
- [2. 繊維・高分子材料の機能] 2a オプティクス・フォトニクス、2b エレクトロニクス、2c イオニクス、2d 機能膜の基礎と応用、2e 接着・界面/表面機能、2f 耐熱性・難燃性
- [3. 繊維・高分子材料の物理] 3a 結晶・非晶・高次構造、3b 繊維・フィルムの構造と物性、3c 複合材料の構造と物性、3d 繊維構造解析手法の新展開
- [4. 成形・加工・紡糸] 4a 繊維・フィルム、4b 不織布・多孔体、4c 複合材料、4d 3Dプリンタ
- [5. 染色・機能加工・洗浄] 5a 染色、5b 機能加工、5c 洗浄管理
- [6. テキスタイルサイエンス] 6a 紡織・テキスタイル、6b 消費科学、6c 感性計測・評価、6d スマートテキスタイル
- [7. 天然繊維・生体高分子] 7a 紙・パルプ、7b 天然材料、7c 生分解性材料、7d バイオマス素材
- [8. ソフトマテリアル] 8a 液晶、8b コロイド・ラテックス、8c ゲル・エラストマー、8d ブレンド・ミクロ相分離
- [9. バイオ・メディカルマテリアル] 9a 生体材料・医用高分子、9b バイオポリマー
- [10. 【特別セッション】ナノファイバー] 10a ナノファイバーの作製、10b ナノファイバーの構造と物性、10c ナノファイバーの応用
- [11. 【特別セッション】ミルフィーユ構造の材料科学] 11a 繊維・高分子材料、11b 非高分子系材料、11c 複合材料、11d ミルフィーユ構造の評価・解析

5. 研究発表募集部門：次の2部門で発表を募集します。

部門A [口頭発表(討論5分を含んで発表時間20分)]

部門P [ポスター発表(縦180cm 横120cmのポスターボードに掲示)]

6. 発表形式と応募資格：

A1：口頭発表(一般)、P1：ポスター発表(一般)

A2：口頭発表(優秀口頭発表賞)、P2：ポスター発表(優秀ポスター発表賞)

A2およびP2の応募資格と注意事項：

・A2は優秀口頭発表賞、P2は優秀ポスター発表賞の審査対象になります。

・A2およびP2に応募いただける方は、2019年4月1日現在で以下のとおりです。

A2：2019年4月1日現在で40歳未満の正会員および学生会員(学生会員は博士後期課程に在籍)

P2：2019年4月1日現在で博士号を持たない36歳未満の正会員および学生会員

*優秀ポスター発表賞表彰は、2日目のワインパーティーで行います。

*優秀口頭発表賞の受賞者は、大会終了後、学会ホームページ・学会誌にて公表いたします。

口頭発表：1件につき20分間(発表15分+質疑5分)とします。会場に、液晶プロジェクター、ミニD-Sub 15ピン(オス)ケーブル、PC切替機が準備されています。パソコンは発表者自身をご持参ください。ミニD-Sub 15ピン端子のないパソコンを用いる場合は、変換アダプタもご持参ください。

ポスター発表：ポスター掲示用の画鋏は会場に用意されています

7. 発表申込方法と締切期日：

発表申込：2018.12.3(月)～2019.1.31(木) 17時

予稿原稿投稿(一般)：2019.3.1(金)～2019.3.29(金) 17時

予稿原稿投稿(年次大会 A2 応募対象者)：2019.3.1(金)～2019.3.15(金) 17時

予稿集発行日：2019.5.29(水)

注)*登録の際、繊維学会会員番号(個人正会員、学生会員の方)が必要になります。

会員番号は学会誌送付用封筒に記載されています。

*A2 応募対象者は、予稿原稿投稿期間が異なります。期間内に投稿していない場合、審査対象から除外しますので、くれぐれもご注意ください。なお、締切直前はWebが込み合いますので、早めに申込/投稿してください。また、締切期限を過ぎますと自動的にWebが閉鎖され、以後は受付られなくなります。

8. 事前参加登録：2018.12.3(月)～2019.5.24(金) 17時

9. 参加登録費：

参加登録費：

参加登録料	繊維学会 正会員	維持・賛助 会員	非会員	繊維学会 学生会員	学生非会員
事前登録料	10,000 円	10,000 円	18,000 円	3,000 円	6,000 円
当日登録料	12,000 円	12,000 円	20,000 円	5,000 円	8,000 円

懇親会費：

懇親会費	繊維学会 正会員	維持・賛助 会員	非会員	繊維学会 学生会員	学生非会員
事前登録料	7,000 円	7,000 円	7,000 円	3,000 円	3,000 円
当日登録料	8,000 円	8,000 円	8,000 円	4,000 円	4,000 円

*懇親会は6月5日に行います。

10. 参加登録

大会参加者および懇親会出席者は、発表の有無にかかわらず、登録が必要です。

事前登録締切：2019年5月24日(金)

*事前登録者は、締切までに参加登録料を下記のいずれかの方法でご送金ください。

期間内に入金が確認できない場合は、当日登録料金となります。振込手数料は各自でご負担ください。

(1) 現金書留：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208 (加入者名)一般社団法人繊維学会年次大会係

(2) 銀行振込：三菱東京UFJ銀行目黒駅前支店普通口座 4287837 (加入者名)一般社団法人繊維学会

(3) 郵便振替：口座番号 00110-4-408504 (加入者名)一般社団法人繊維学会年次大会

11. 問い合わせ先：ご不明の点は、学会事務局(TEL: 03-3441-5627、E-mail: office@fiber.or.jp)にお問合わせください

2019年繊維学会年次大会実行委員会：

実行委員長：斎藤 拓(農工大)

実行副委員長：赤坂修一(東工大)、宝田 亘(東工大)、中野幸司(農工大)、前田裕平(東レ)

担当理事：戸木田雅利(東工大)

実行委員：雨宮敏子(お茶女大)、石井大輔(東農大)、石毛亮平(東工大)、攪上将規(信州大)、兼橋真二(農工大)、
金 慶孝(信州大)、葛原亜起夫(東京家政大)、黒瀬 隆(山形大)、佐藤高彰(信州大)、敷中一洋(産総研)、
芝崎祐二(岩手大)、高崎 緑(京都工芸繊維大)、帯刀陽子(農工大)、田中 学(首都大)、永井大介(群馬大)、
中澤靖元(農工大)、濱田仁美(東京家政大)、松田靖弘(静岡大)、松葉 豪(山形大)、松本英俊(東工大)、
丸林弘典(東工大)、村瀬浩貴(共立女子大)、藪 浩(東北大)、吉岡太陽(農研機構)(五十音順)

学会事務局：野々村弘人、山本恵美

2019 学術ミキサー(3 学会共催)

新年を迎えるにあたり「2019 学術ミキサー」を東京・九段下の和洋九段女子高校にて開催いたします。繊維関連の 3 学会共催による開催も 5 年目となりました。

平素よりご支援、ご指導を頂いております会員、大学、研究機関、企業ならびに関連団体の方々との間で情報交換をしていただき、繊維関連の学術、産業について今後を展望したいと存じます。

今回の学術ミキサーは、「シルクの素晴らしい構造と応用展開」と題して東京農工大学の朝倉哲郎先生よりご講演いただき、つづいて「セルロースナノファイバーの研究－界面構造が支配する分散・集積・複合体の科学」と題して東京大学の齋藤継之先生にご講演をいただきます。

ご講演終了後は、3 学会役員の新年挨拶と講師の方々を交えた交流会を予定しています。

各学会の会員様はじめ大学・企業・団体会員の方々におかれましては、3 学会の会員同士の連携や情報交換の貴重な機会となりますよう多数の方々のご参加をお待ちしております。

共 催：(一社)繊維学会、(一社)日本繊維機械学会、(一社)日本繊維製品消費科学会

日 時：2019 年 1 月 11 日(金) 13:25～17:00(九段スカイビルの 1 階にて受付：12:30 より)

会 場：和洋学園 九段スカイビル(〒102-0073 東京都千代田区九段北 1 丁目 12-12)

和洋九段女子高校に隣接したブルー色のビルの 2 階

都営新宿線、東京メトロ半蔵門線または東西線の九段下駅下車、出口 1 より徒歩 5 分。

プログラム：(13:25～17:00)(受付開始は、12:30)

(13:25～13:30) 開催挨拶

(13:30～14:20) 講演 1「シルクの素晴らしい構造と応用展開」

東京農工大学 朝倉哲郎

カイコならびにクモの絹の素晴らしい構造と繊維化の機構について最新の構造研究の成果を話すとともに、その特徴を生かした再生医療材料の開発等の応用展開について

(14:20～14:30) 〈休憩〉

(14:30～15:20) 講演 2「セルロースナノファイバー研究：界面構造が支配する分散・集積・複合体の科学」

東京大学 齋藤継之

セルロースナノファイバーとは、木繊維より精製した細胞壁セルロースの湿式粉碎物であり、一般的に水分分散体の状態で流通している。そのため、分散体を出発としたフィルムや多孔質への成形プロセスや、プラスチックとの複合化においては、分散体の取り扱いが重要であり、これらの系を支配するのは界面科学である。本講演では、界面構造が如何に分散・集積・複合化に作用するのか、当研究室の事例をもとに解説する。

(15:20～15:30) 〈休憩・交流会会場へ移動〉 交流会会場は同ビルの 3 階です。

(15:30～17:00) 交流会(3 学会役員新年挨拶、名刺交換会・軽食)

参加費：3,000 円

定 員：70 名(定員になり次第締め切らせていただきます)

申込方法：参加ご希望の方は、学会ホームページの申込フォームよりお申込みください。

または、繊維学会事務局までメールにてお申込みください。

問合せ先：(一社)繊維学会 〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail:office@fiber.or.jp

繊維学会関東支部・ナノファイバー技術戦略研究委員会 2018 年度合同講演会

本年度、繊維学会関東支部とナノファイバー技術戦略研究委員会は合同で講演会を開催します。皆様奮ってご参加ください。

主 催：一般社団法人 繊維学会 関東支部およびナノファイバー技術戦略研究委員会

日 時：2018 年 12 月 25 日(火) 14:30～16:40(受付：14:00 より)

会 場：東京工業大学大岡山キャンパス 大岡山西 9 号館 2 階コラボレーションルーム
(東京都目黒区大岡山 2-12-1、東急目黒線・大井町線大岡山駅下車)

詳細は <https://www.titech.ac.jp/maps/> をご覧ください。

参加費：繊維学会正会員・学生会員：無料

非会員：(一般)10,000 円、(学生)1,000 円

※繊維学会員でない方はこの機会に是非ご入会ください

入会の詳細については学会 HP (<http://www.fiber.or.jp/jpn/join/join.html>) をご覧ください。

申込締切：2018 年 12 月 10 日(月)

申込方法：申込書に必要事項をご記入の上、下記宛 E-mail または FAX でお申し込みください。

参加費は前納と致します。送金は上記締切日までに下記銀行口座へお振り込みください。

領収書は会場にてお渡し致します。別途請求書が必要な場合はご連絡ください。

プログラム：

14:30～15:30 「環境にやさしい新規抽出法による植物バイオマスの機能素材化」

産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 敷中一洋

本講演では環境負荷が極めて少ない植物バイオマス抽出法「同時酵素糖化粉碎」に基づいたリグニン・多糖類の機能素材化についての講演者らの最新のトピックスについて概説する。

15:40～16:40 「メルトブロー不織布の製造技術と繊維形成機構」

東京工業大学 物質理工学院 宝田 亘

メルトブロー法は熔融樹脂を高温・高速の空気流で吹き飛ばす事で 1 工程で細繊維度の繊維からなる不織布を作製する技術である。本講演では、メルトブロー法の概要と、メルトブロープロセスにおける繊維の形成機構について解説する。

参加申込先：〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1-S8-27

東京工業大学物質理工学院材料系内

ナノファイバー技術戦略研究委員会事務局(松本英俊)

TEL/FAX: 03-5734-3640 E-mail: matsumoto.h.ac@m.titech.ac.jp

(銀行振込口座)

三菱 UFJ 銀行武蔵境支店(店番号 464) 普通口座：1703769

名義：ナノ研究会口齋藤 拓(ナノケンキュウカイグチ サイトウ ヒロム)

2018 年度繊維学会東北・北海道支部講演会 「新規材料創製のための合成技術の最前線」

主 催：繊維学会東北・北海道支部

共 催：東北ポリマー懇話会

協 賛：高分子学会東北支部、日本接着学会東北支部

日 時：2019 年 1 月 22 日(火) 14:30～17:00

会 場：日本大学工学部 次世代工学技術研究センター

プレゼンテーションルーム(福島県郡山市田村町徳定字中河原 1)

交 通：

1. JR 郡山駅前バス乗場より「昭和町経由日大・徳定」行き(乗場 3 番)で「日本大学」下車、所要時間約 20 分
2. JR 郡山駅よりタクシー、所要時間約 15 分
3. JR 東北本線「安積永盛駅」下車、徒歩 15 分
4. 構内に駐車場もあります

プログラム：

〈14:30～15:40〉

1. 主鎖にビニルモノマーを挿入する環拡大重合の開発

(山形大学大学院有機材料システム研究科) 鳴海 敦

〈15:50～17:00〉

2. 可逆的共有結合を利用したリサイクル性高分子の創成

(東京都市大学工学部) 岩村 武

参加費：無料

参加申込方法：氏名・勤務先・連絡先(住所、電話番号、電子メールアドレス)を明記の上、電子メールまたは FAX にて下記までお申込みください。

申込先：〒963-8642 郡山市田村町徳定字中河原 1 日本大学工学部生命応用化学科

根本修克 TEL/FAX: 024-956-8812 E-mail: nemoto.nobukatsu@nihon-u.ac.jp

シンガポール国立大学 Seeram Ramakrishna 教授講演会

主 催：国立大学法人京都工芸繊維大学繊維科学センター

共 催：一般社団法人繊維学会・ナノファイバー技術戦略研究委員会

一般社団法人 日本繊維機械学会・ナノファイバー研究会

日 時：2019 年 1 月 28 日(月) 14:30～17:40

場 所：京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス 3 号館 0322 講義室

京都市営地下鉄烏丸線 松ヶ崎駅下車徒歩 8 分

講 師：Prof. Seeram Ramakrishna

(The Director of Center for Nanofibres and Nanotechnology, National University of Singapore)

プログラム：

14:30～16:00 Nanofibers and Nanotechnology

16:10～17:40 Circular Materials

参加料：無料(事前申し込み不要・当日直接会場にお越しください)

講演会の案内の URL: http://www.cfts.kit.ac.jp/2018P2P_1.pdf

問合せ先：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 1

京都工芸繊維大学繊維学系 石井佑弥

E-mail: yishii@kit.ac.jp TEL: 075-724-7883

繊維学会 第193回被服科学研究委員会

委員長 平井郁子

第193回被服科学研究会は、早稲田大学の長沢伸也先生をお招きして「ラグジュアリーブランドの現状と日本ブランドの課題」というテーマで講演会を行いますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。会員以外の方にも積極的に参加の呼びかけをお願いいたします。会員、学生は参加費無料、非会員の方は500円をいただきます。

日時：2019年1月24日(木) 16:20～17:50

会場：大妻女子大学 千代田校舎 F棟6階
644教室

〒102-8357 東京都千代田区三番町12

交通：JR中央線・都営新宿線・東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅下車 徒歩約10分
東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅下車 徒歩約5分
東京メトロ東西線「九段下」駅下車 徒歩約12分

地図：https://www.otsuma.ac.jp/access/chiyoda

講演：「ラグジュアリーブランドの現状と日本ブランドの課題」

早稲田大学大学院経営管理研究科
(早稲田大学ビジネススクール)

教授 長沢伸也先生

内容：日本人の消費は、高価格なものと低価格なものに二極化しつつあると言われる。ファッション・アパレルの分野では、低価格なものの代表はユニクロやしまむらに代表されるSPAやファストファッションで主にアジア製である。高価格なものの代表はラグジュアリーブランドであり主にヨーロッパ製である。そこで、なぜラグジュアリーブランド品が売れるのか、ラグジュアリー企業の特徴、日本発のラグジュアリーブランドへの挑戦などについて解説する。

交流会：委員会終了後、参加者の交流会(18:20～20:20)を予定しています。

東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅下車 徒歩約5分

〔会場〕未定 大学近隣

〔会費〕4,000円(予定)

申込み：交流会参加の有無も含めて、2019年1月12日(土)までに下記へお申し込みください。

申込＆連絡先：大妻女子大学 平井郁子

〒102-8357 東京都千代田区三番町12

TEL&FAX: 03-5275-6022

E-mail: i-hirai@otsuma.ac.jp

フロンティアソフトマター開発専用チーム ライン産学連合体 第8回 研究発表会

日時：2018年12月26日(水) 12:45～18:20(予定)

会場：京都大学おうばくプラザ(京都府宇治市五ヶ庄)

講演予定：招待講演(2件) 京都大学 秋吉一成

大阪大学 高橋幸生

連合体参加メンバー講演 4グループ

ポスター発表 連合体参加18グループの成果発表

問合せ・参加申込は、フロンティアソフトマター開発専用チームライン産学連合体事務局 fsbl@spring 8.or.jp にご連絡ください。

日本接着学会東北支部講演会 2018(2)

主催：日本接着学会東北支部

日時：2019年1月16日(水) 13:30～16:50

会場：山形大学米沢キャンパス

工学部百周年記念会館セミナールーム

(山形県米沢市城南4-3-16)

プログラム：講演3件 名古屋大学 原 光生

日本大学 根本修克

大阪府立大学 松本章一

参加費：無料

問合せ先：山形大学大学院有機材料システム研究科

岡田修司

TEL: 0238-26-3741

E-mail: okadas@yz.yamagata-u.ac.jp

進化を遂げる μ -TAS lab-on-chip organ-on-a-chip コース

主催：(地独)神奈川県立産業技術研究所(KISTEC)

日時：2019年1月21日(月)、22日(火)、23日(水)

全日程3日間

会場：かながわサイエンスパーク内 講義室

(川崎市高津区坂戸3-2-1)

カリキュラム及び募集要項、定員、受講料などの詳細は下記にお問い合わせください。

問合せ先：(地独)神奈川県立産業技術総合研究所

人材育成部教育研修課教育研修グループ

矢野

TEL: 044-819-2033

E-mail: ed@newkast.or.jp

第 251 回ゴム技術シンポジウム ～基礎から応用技術でみる ゴムのトライボロジー(Ⅲ)～

主 催：日本ゴム協会研究部会
トライボロジー研究分科会
日 時：2019 年 1 月 24 日(木) 9:55～17:15
会 場：大阪科学技術センター 404 号室
(大阪市西区鞠本町 1-8-4)
プログラム：講演(6 件)

第 252 回ゴム技術シンポジウム ～ゴム・エラストマーの安全、安心を 支える劣化対策～

主 催：日本ゴム協会研究部会 環境劣化研究分科会
日 時：2019 年 2 月 1 日(金) 9:50～17:00
会 場：東京電業会館・地下ホール
(東京都港区元赤坂 1-7-8)
プログラム：講演(6 件)
詳細プログラムはホームページ <http://www.srij.or.jp/> を参照ください。
問合せ先：(一社)日本ゴム協会
(東京都港区元赤坂 1-7-8)
TEL: 03-3401-2957
E-mail: kenkyuubukai@srij.or.jp

第 23 回省エネルギーセミナー 「省エネ新技術特集」

主 催：紙パルプ技術協会(JAPAN TAPPI)
日 時：2019 年 2 月 14 日(木)、15 日(金)
会 場：タワーホール船堀 小ホール
(東京都江戸川区船堀 4-1-1)
プログラム：特別講演(2 件)、サプライヤー講演(7 件)、
製紙会社事例発表(5 件)
詳細はホームページ <http://www.japanntappi.org>
を参照ください。
問合せ先：紙パルプ技術協会
省エネルギーセミナー事務局
TEL: 03-3248-4841
(東京都中央区銀座 3-9-11)
紙パルプ会館 11 階)

第 168 回講演会 最新の成形不良対策と 品質向上へのアプローチ ～寸法不良及びガス対策を中心に～

主 催：プラスチック成形加工学会
日 時：2019 年 2 月 19 日(火)
会 場：東京工業大学 大岡山キャンパス
西 9 号館コラボレーションルーム
プログラム：講演 6 件
講演会の詳細プログラムはプラスチック成形加工学
会のホームページ <http://jspp.or.jp> を参照ください。
申込・問合せ先：
(一社)プラスチック成形加工学会事務局
東京都品川区大崎 5-8-5
(グリーンプラザ五反田 第 2-205)
TEL: 03-5436-3822
E-mail(申込専用): kikaku-event@jspp.or.jp

専任教員の公募(岐阜市立女子短期大学)

所 属：岐阜市立女子短期大学 生活デザイン学科
採用職名：教授 1 名
担当科目：ファッション造形論、ファッション造形演
習Ⅱ・Ⅲ、パターンメイキング論、ファッ
ションデザイン演習Ⅱ、卒業研究、ゼミナ
ルその他関連科目
着任時期：2019 年 4 月 1 日
応募締切日：2018 年 12 月 18 日(火)
応募資格、応募書類、選考方法などは岐阜市立女子
短期大学のホームページでご確認してください。
問合せ先：岐阜市立女子短期大学 生活デザイン学科
学科長 服部宏巳
TEL: 058-296-4187 FAX: 058-296-3130